

5 公益財団法人名古屋食肉公社

令和元年7月1日現在

令和元年7月1日現在

設立年月日	平成6年5月20日	代表者氏名	理事長 芝 康夫					
所在地	名古屋市港区船見町1番地の39				電話番号	052-619-4171		
ホームページアドレス	http://www.kosha.sakura.ne.jp/index.html							
資本金・基本金	105,200千円	市出資・出捐金	89,571千円 (85.1%)					
所管部局	市民経済局中央卸売市場南部市場管理課				電話番号	052-614-4129		
設立目的	名古屋市中央卸売市場南部市場において、と畜解体処理に関する事業等を行い、安全で衛生的な食肉の安定供給を図るとともに、食肉の安全衛生に係る普及啓発活動を通じて、広く公衆衛生の向上を図ることを目的とする。							
主な事業	事業名	平成30年度	事業費	事業の概要				
	と畜解体・冷蔵保管		791,061千円	と畜解体処理業務及び冷蔵保管業務				
	副産物処理		222,278千円	内臓、皮、脂肪等の副産物の処理加工業務				
	食肉加工		36,746千円	枝肉の部分肉加工業務				
役職員数		常				勤	非 常 勤	
	役 員 数	3人 (うち市派遣)		0人 (うち市OB)	2人	9人		
	職 員 数	91人 (うち市派遣)		0人 (うち市OB)	0人	24人		
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,859千円		正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		6,161千円	正規職員 平均年齢 (市派遣職員除く)	38.6歳
		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
市からの財政支出	委託料	135,593千円		131,216千円		130,726千円		
	内 随意契約金額	(135,593千円)		(131,216千円)		(130,726千円)		
	補助金	210,204千円		218,098千円		223,807千円		
	指定管理料	0千円		0千円		0千円		
	貸付金 (年度末残高)	0億円		0億円		0億円		
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	1,050,252千円		1,084,737千円		1,101,725千円		
	経常費用	1,040,201千円		1,046,165千円		1,063,958千円		
	経常利益 (損失)	10,051千円		38,572千円		37,766千円		
	当期利益 (損失)	10,051千円		38,572千円		37,766千円		
貸借対照表	総資産	232,042千円		297,305千円		328,017千円		
	内 流動資産	(117,870千円)		(188,226千円)		(209,706千円)		
	内 固定資産等	(114,171千円)		(109,079千円)		(118,311千円)		
	総負債	114,961千円		141,652千円		134,598千円		
	内 流動負債	(97,456千円)		(128,796千円)		(122,621千円)		
	内 固定負債等	(17,505千円)		(12,856千円)		(11,978千円)		
	純資産 (正味財産)	117,080千円		155,652千円		193,419千円		

経営に関する指標（共通指標）

5 公益財団法人名古屋食肉公社

○法人の自立性		平成29年度	平成30年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	32.2%	32.2%	0.0%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
外部委託率	$\left(\frac{\text{外部委託額等}}{\text{市との随意契約金額等}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
		平成30年7月1日現在	令和元年7月1日現在	対前年増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	27.3%	16.7%	▲10.6%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
○組織運営の効率性		平成29年度	平成30年度	対前年度増減
管理費比率	$\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	0.1%	0.1%	0.0%
○財務の健全性		平成29年度	平成30年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{総資産}} \right)$	52.4%	59.0%	+6.6%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	146.1%	171.0%	+24.9%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	64.7%	57.6%	▲7.1%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金（欠損金）	$\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{-基本金・資本金}} \right)$	50,452千円	88,219千円	37,767千円

○ 経営戦略計画（H29～H31）の概要

経営戦略方針
安心、安全な食肉の安定供給を基本理念に、業務の効率化による人件費、物件費の削減に取り組むとともに、と畜解体に付随する食品管理上必要な業務の実施、市場・顧客ニーズへの的確な対応による収益事業の収益向上など、牛及び豚の処理頭数に左右されない財務体質の確保に努めます。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標（単位）	30 目標値	30 実績値
と畜解体の技術、品質を維持、向上させることで、生産者や購買者の信頼を高め、南部市場の集荷促進ならびに取引の活性化を図る。 【公共サービスの充実】	豚解体作業不良件数の割合（%）	0.1%未満	0.05%
	作業場内器具の細菌検査結果による目標不達成の割合（%）	8%	7%
と畜解体及び冷蔵庫保管事業による事業収入、補助金と合わせ、関連業務の実施並びに収益事業の利益確保により、純資産額と流動比率を高め、財務内容の安定を図る。 【財務内容の改善・向上】	流動比率（%）	115%	171%
生産性を維持しながら、経常経費の抑制に努める。 【効率性の発揮と成果】	正規職員1人当たりの経常利益（千円）	110千円	406千円
技術・品質及び衛生管理レベルの底上げを行い、高い専門スキルを持った人材を育成するとともに、公益財団法人の職員として、市民から信頼を得られるよう、コンプライアンス精神が行きわたった職場風土づくりを目指す。 【人材力・現場力の強化】	作業衛生責任者の資格取得（名/年）	毎年4名	6名